

メグロアドレス — 都会に生きる作家 —

本展のみどころ

- 絵画、彫刻、建築、刺繍、写真など、多彩な分野の第一線で活躍する若手作家が集結。
- 本展のための新作インスタレーションが行われます。
- 会期中には作家自身が出演／プロデュースする関連イベントを多数開催。
- 美術館では初めて展示を行う作家が複数含まれます。

【**展覧会名**】メグロアドレス—都会に生きる作家

【**キャッチコピー**】都市の感性に基づく若手作家6人の共演

【**会期**】2011年2月7日(木)～4月1日(日) 【**開館時間**】10:00～18:00(入館は17:30まで) 【**休館日**】月曜日

【**会場**】目黒区美術館 153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 【**交通**】JR山手線、東急目黒線、東京メトロ、都営三田線「目黒」駅より徒歩10分

【**主催**】(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館 【**助成**】公益財団法人花王芸術・科学財団

【**入館料**】個人/団体割引/障害者その付添(1名)

一般 | 700円(550円)

大高生・65歳以上 | 550円(400円)

中学・小学生無料 ※団体割引は20名様以上、障がい者割引あり

【**一般お問合せ**】目黒区美術館 tel.03-3714-1201

【**ホームページ**】目黒区美術館ホームページ <http://www.mmat.jp>

【**巡回展**】本展の巡回はありません

【**催し物**】会期中、多数の関連企画を開催予定。

詳細は決定次第、HPにてお知らせいたします

【**お問合せ**】

153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 目黒区美術館

TEL.03-3714-1201/FAX.03-3715-9328

展覧会担当(学芸):石崎尚 (ishizaki-t@mmat.jp)

広報担当(事務):本間優子(honma-y@mmat.jp)

【**同時開催**】今井智己 個展「mapping TAIPEI」2月17日～3月1日 epSITE[新宿]/南川史門 個展「鏡、音楽、マルチメディアとコーヒーパーティー」2月17日～4月1日 NADiff gallery[恵比寿]

1) 展覧会について

この展覧会は6人の作家によるグループ展です。出品作家に共通するのは、身の回りのモノや出来事から受けた刺激を、しなやかな感性によって作品に仕上げている点です。また、全員が1970年代生まれでもあります。

展覧会でお見せする作品は、様々な素材や手法から出来ています。「一見さらびやかだが、実は社会に対する提言を秘めた刺繍」、「画面の全てが克明に見えてもなお、見えぬものの存在を意識させる写真」、「都市の隙間に生きる植物を描いた絵」、「美術館の埋もれた空間に光を当てるインスタレーション」、「身の回りのモチーフをカラフルかつ記号的に描いた絵画」、「漆という伝統的な素材を用いながら、未来的な印象をもたらす人体彫刻」—この展覧会でお見せするのはそのような作品たちです。

物、人、情報が大量に溢れ、目まぐるしく過ぎ去っていく都会の中にありながら、自分の生活の中から生まれる些細な感覚から出発した作品たち。それは多くの矛盾や不都合に満ちながらも、やはりその中で暮らすしかない私たちの都市生活とどこかで通じ合います。6人の作家たちは、現代都市に生きる我々の日常に目を背けるのではなく、その中で信じられる確かなものを見つけようとしています。私たちが日々、見て、感じて、考えていることを、それらの作品と照らし合わせる。[今、ここ]に生きる若手作家の作品を見ることは、私たちの生きている時間と場所を、改めて見つめ直す機会を与えてくれます。私たちはつい、「アート」は個人的な領域であり、社会から隔絶されたものと考えてしまいがちですが、この展覧会では出品作品を通して、現代における都市生活というものを見直していきます。

タイトルの「メグロアドレス」とは、出品作家の全員が現在もしくは過去において目黒区に住んでいたこと(アドレス=住所)を表します。しかし同時に、「社会に対して公立美術館は何が出来るのか」という問題に立ち向かう、目黒区美術館の姿勢も表しています。(英語のaddressには「取組む」「扱う」「主張する」などの意味があります)。

2) 出品作家



青山悟+平石博一(インスタレーション) Satoru Aoyama+Hirokazu Hiraishi
1973年、東京都生まれ。1998年、ゴールドスミスカレッジ・テキスタイル学科卒業。2001年、シカゴ美術館大学附属美術学校修了。ミンを用いてメッセージ性の強い刺繍作品を制作する。作業台に長時間向かい続ける自身の制作を「労働」と捉え、芸術と労働に関する思索を深めた作品を展開する。



今井智己(写真) Tomoki Imai

1974年、広島県生まれ。1998年、東京芸術大学芸術学科卒業。個展、グループ展多数。写真集に「In-between10 リトアニア・ベルギー」、「真昼」「光と重力」など。「光」を扱う写真というメディアを根本から問い直すために、「盲目」をテーマに作品を制作するほか、最近では福島第一原発を取材した風景写真の撮影も行っている。



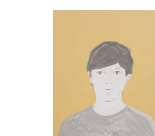
須藤由希子(絵画) Yukiko Suto

1978年、神奈川県生まれ。2001年、多摩美術大学デザイン科グラフィックデザイン専攻卒業。作家の生活圏内にある風景を主に鉛筆を使って描く。その細部まで食い入るような視線は、都市の中に存在する「人間の手の入った自然」としての植物にしばしば注がれ、対象に対する作家の慈しみを感じさせる。



長坂常(建築) Jo Nagasaka

1971年、大阪府生まれ。1998年、東京芸術大学建築学科を卒業、スキーマ建築計画を設立。敷地や建築の骨格など与えられた条件を極力活かし、ありのままを大事にする志向を持ちながらも、決定的に場のあり方を変えてしまう建築プロジェクトで評価される。そのプロセスは「逆算」や「引き算」という特徴を持ち、過酷な住宅環境にある都心において、なお住むことの豊かさを提示し続けている。



南川史門(油彩) Shimon Minamikawa

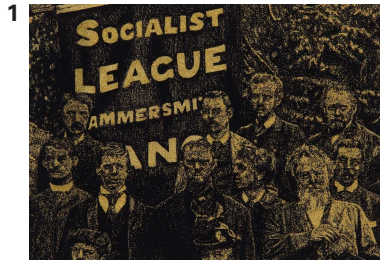
1972年、東京生まれ。1991年から94年まで多摩美術大学美術学部二部に在学。都市の感覚やポップミュージックなど、日常から受けた刺激をフラットな抽象絵画に転化する。抽象表現主義から日本の伝統的な美意識まで、様々なイメージの源泉を取り入れた記号的な画面は、今の時代における絵画表現を問い続けている。



保井智貴(彫刻) Tomotaka Yasui

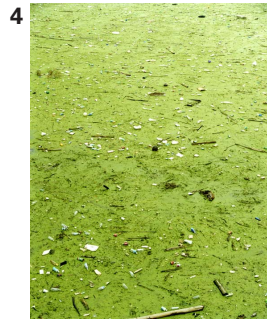
1974年、アトワープ生まれ。2001年、東京藝術大学大学院修士課程修了。2005年、中原悌二郎賞優秀賞。漆を使った伝統的な彫刻技法である乾漆を用いて、主に等身大の女性像を制作する。手足の身振りを封じられ、静かな表情だけで佇むその像は、ただじっと立っていることによって、その場の空気を支配している。

広報用画像一覧



1.青山悟《Glitter Pieces #1》2008年

2.青山悟《東京の朝》2005年



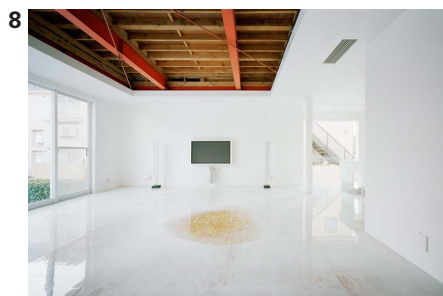
3.今井智己《untitled》2004年

4.今井智己《untitled》2010年



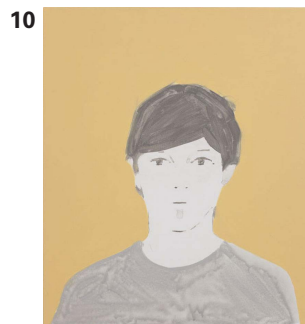
5.須藤由希子《鉢植えと家 - 深沢》2008年

6.須藤由希子《仙川の畑 - 斜面》2010年



7.長坂常《Flat Table“peeled”》2011年

8.長坂常《奥沢の家》2009年



9.南川史門《乱れ髪、エリカ、緑、黄色》2010年

10.南川史門《ミラー》2010年



11.保井智貴《capsule》2008年

12.保井智貴《calm》2009年

「メグロアドレス—都会に生きる作家」展 広報用画像送付申込書

宛先: 目黒区美術館 (担当) 石崎/本間 宛

FAX番号: **03-3715-9328** E-mail: **mmatoffice@mmat.jp**

■ 本票に必要事項をご記入の上、上記宛先までFAXでお申し込みいただくか、メールにて本票と同様の記入事項とご希望の作品図版をお知らせ下さい。掲載紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。

お申し込み日 月 日

貴社名 _____ ご担当者氏名 _____

住所 〒 _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

連絡欄 _____

掲示媒体名(雑誌名など) _____

[メディアの形態]

[紙媒体] 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他()

[電子媒体] テレビ / ラジオ / WEBサイト / 携帯サイト / その他()

発行・放送予定日 年 月 日

■ 図版は画像データをご用意しております。ご希望の図版の番号に○を付けてご指定ください。

- 1 青山悟《Glitter Pieces #1》2008年 ポリエステルにメタリック糸と黒糸で刺繍
- 2 青山悟《東京の朝》2005年 ポリエステルに刺繍
- 3 今井智己《untitled》2004年 発色現像方式印画
- 4 今井智己《untitled》2010年 発色現像方式印画
- 5 須藤由希子《鉢植えと家 - 深沢》2008年 アクリル、鉛筆/パネル貼りカンヴァス Courtesy of the artist and Take Ninagawa, Tokyo
- 6 須藤由希子《仙川の畑 - 斜面》2010年 アクリル、鉛筆/パネル貼りカンヴァス Courtesy of the artist and Take Ninagawa, Tokyo
- 7 長坂常《Flat Table "peeled"》2011年 シダー、カラーエポキシ
- 8 長坂常《奥沢の家》2009年
- 9 南川史門《乱れ髪、エリカ、緑、黄色》2010年 アクリル、カンヴァス
- 10 南川史門《ミラー》2010年 アクリル、カンヴァス
- 11 保井智貴《capsule》2008年 漆、麻布、螺鈿、岩絵具、洋金粉、膠、黒曜石、大理石、その他
- 12 保井智貴《calm》2009年 漆、麻布、螺鈿、岩絵具、膠、黒曜石、琥珀、大理石、その他

■ 広報用画像について

- ・データはメールにてご送付いたします。
- ・画像は展覧会紹介の目的のみ許可いたします。
- ・データを第三者に渡すことは禁止いたします。使用后、データは破棄してください。
- ・展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。
- ・作品写真のトリミングは禁止いたします。文字載せも不可です。
- ・写真掲載に関しては、添付するクレジットを表記してください。
- ・掲載誌(紙)は1点、当館担当者までお送りください。Webサイトは公開後にURLをお知らせください。
- ・当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。
- ・8番の画像は、当館へご連絡を頂いたあと、こちらからお知らせする写真管理事務所に別途ご連絡いただき、事務所から画像をお送りする手はずとなりますので、ご了承ください。

■ 作品画像を掲載の上、本展を紹介してくださる媒体には、展覧会の招待券(5組10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。下記にご記入ください。

読者プレゼント用招待券を [希望する ・ しない]

広報用画像に関するお問い合わせ:

153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36目黒区美術館
TEL.03-3714-1201/FAX.03-3715-9328
展覧会担当(学芸):石崎尚 (ishizaki-t@mmat.jp)
広報担当(事務):本間優子(honma-y@mmat.jp)